

今日は、チノパンにカジュアルシャツで出勤してみた。夏になると、ポロシャツの日もあったが、カジュアルシャツで出勤は校長初。クールビズだし、90年代には、カジュアルフライデーという言葉もあった▼女性の先生が「校長先生今日は爽やかですね」と声をかけていただいたことはよかった。登校してくる子どもは、「〇〇の店長さんかと思った」「見たことない恰好だ」給食の時間に出かけていった教室では、「ハワイへ行くの?」「沖縄?」▼前任の学校へ校務でお邪魔して、たまたま出会った顔見知りの保護者の方には「校長先生、阿下喜に行かれてから若々しくなりましたね。」とこれはきっとお褒めの言葉▼一体どんな格好をしていたのか?と訝しがられるかもしれない。いつもとはっきり違うのは、シャツをチノパンの外に出していたことだ。我々の世代、シャツを外に出して着ていると、「だらしない」「みっともない」「おちゃくち」と言われた▼月曜日は、チノパンにシャツは中に入れて、子どもたちを迎えた。誰一人としてわたしの服装に反応する子はいなかった。自分的には(今日の方が〇〇の店長さんだったけど・・・)▼ある先輩の校長先生が、ドラえもんのネクタイを愛用していたことを思い出した。だからといって、ドラえもんのTシャツというわけにはいかないが、清潔感を保ち、爽やかで若々しく涼しげな服装を心がけたい。